

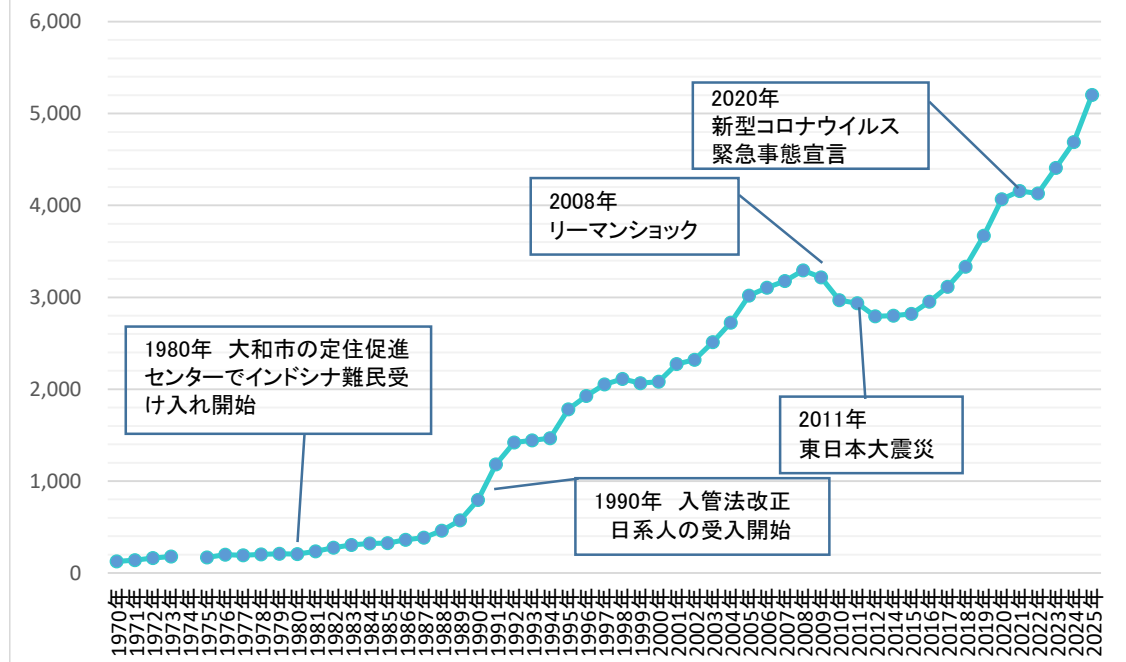
統計資料から見る 綾瀬市における外国人市民の現状

綾瀬市市民活動推進課
令和7年（2025年）4月

目 次

- (1) 綾瀬市における外国人人口の推移・・・・・・・・・・ P 1
- (2) 外国人人口比率・・・・・・・・・・ P 1
- (3) 県内市町村における外国人人口数と人口比率・・・・・・・・ P 4
- (4) 綾瀬市における国別外国人人口の推移・・・・・・・・・・ P 5
- (5) 綾瀬市における外国人の在留資格内訳・・・・・・・・・・ P 6
- (6) 綾瀬市における在留資格別の外国人人口推移・・・・・・・・ P 6
- (7) 綾瀬市における年齢階級別の外国人人口・・・・・・・・・・ P 8

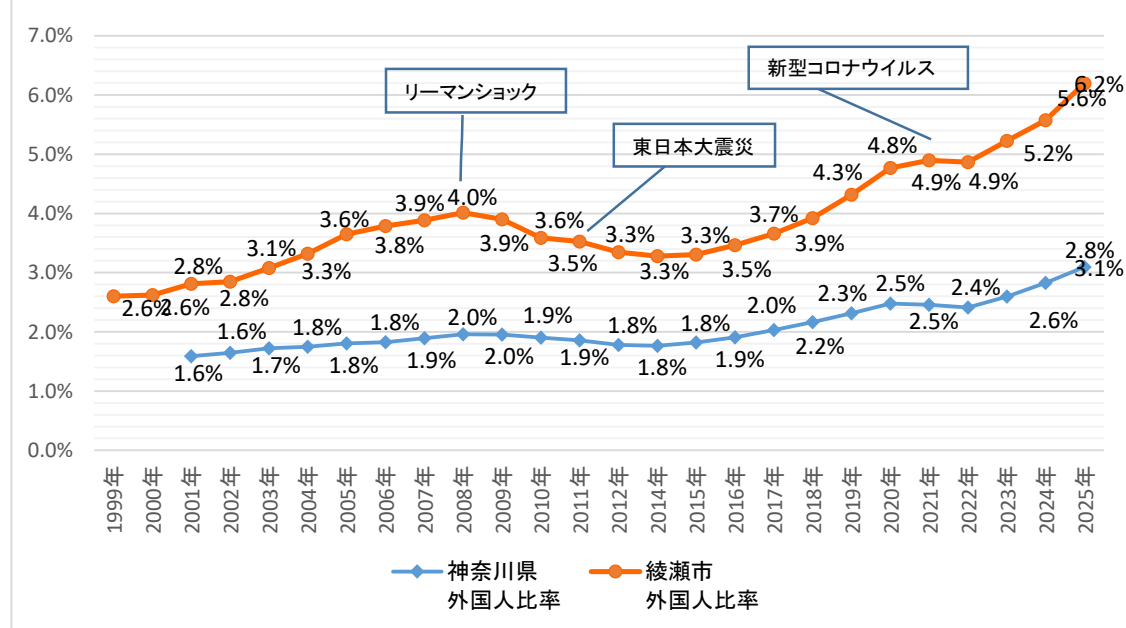
(1) 綾瀬市における外国人人口の推移



【解説】

本市では1990年の入管法改正以降、外国人市民が大幅に増加してきた。なお、特殊要因として、2008年のリーマンショックと2011年の東日本大震災により一時的に減少したものの、2014年には再び増加傾向に転じ、2018年以降は過去最高を毎年更新する勢いで増加していたが、2021年、2022年はコロナ禍により鈍化し、2023年からは再び増加に転じている。

(2) 外国人人口比率（神奈川県と綾瀬市）



【解説】

本市の外国人市民比率は、県平均との比較で常に2～3%前後高く推移しており、近年では県との乖離がより大きくなっている。

参考：外国人人口の推移（神奈川県及び綾瀬市）
※（１）（２）のバックデータ

		神奈川県 総人口	神奈川県 外国人人口	神奈川県 外国人比率	綾瀬市 総人口	綾瀬市 外国人人口	綾瀬市 外国人比率	備 考
1970年	昭和45				24,960	126	0.5%	
1971年	昭和46				29,911	139	0.5%	
1972年	昭和47				34,857	163	0.5%	
1973年	昭和48				39,448	178	0.5%	
1974年	昭和49				44,588		0.0%	
1975年	昭和50				50,367	168	0.3%	サイゴン陥落により ベトナム難民が発生
1976年	昭和51				53,647	200	0.4%	
1977年	昭和52				56,466	191	0.3%	
1978年	昭和53				59,241	202	0.3%	
1979年	昭和54				62,302	209	0.3%	
1980年	昭和55				64,838	205	0.3%	大和市に定住促進セ ンター開設（インドシ ナ難民受け入れ）
1981年	昭和56				65,978	236	0.4%	
1982年	昭和57				68,061	275	0.4%	
1983年	昭和58				69,053	306	0.4%	
1984年	昭和59				70,145	323	0.5%	
1985年	昭和60				71,084	326	0.5%	
1986年	昭和61				72,545	360	0.5%	
1987年	昭和62				74,466	386	0.5%	
1988年	昭和63				75,596	460	0.6%	
1989年	平成1				76,589	572	0.7%	
1990年	平成2				77,485	796	1.0%	定住者の在留資格 創設（日系人増加）
1991年	平成3				78,496	1,183	1.5%	
1992年	平成4				78,880	1,420	1.8%	
1993年	平成5				79,559	1,445	1.8%	技能実習制度の導入
1994年	平成6				79,760	1,467	1.8%	
1995年	平成7				79,503	1,780	2.2%	
1996年	平成8				79,506	1,925	2.4%	
1997年	平成9				79,397	2,051	2.6%	
1998年	平成10				79,221	2,111	2.7%	
1999年	平成11				79,319	2,064	2.6%	
2000年	平成12				79,406	2,082	2.6%	
2001年	平成13	8,503,498	135,104	1.6%	80,994	2,275	2.8%	
2002年	平成14	8,575,372	141,314	1.6%	81,408	2,320	2.8%	
2003年	平成15	8,639,665	149,012	1.7%	81,665	2,512	3.1%	
2004年	平成16	8,697,720	152,273	1.8%	82,125	2,725	3.3%	
2005年	平成17	8,748,731	157,947	1.8%	82,776	3,020	3.6%	
2006年	平成18	8,801,632	160,600	1.8%	81,880	3,103	3.8%	
2007年	平成19	8,848,166	167,601	1.9%	81,803	3,178	3.9%	
2008年	平成20	8,910,256	174,352	2.0%	82,083	3,294	4.0%	リーマンショック (2008.9.15)
2009年	平成21	8,965,352	175,014	2.0%	82,516	3,217	3.9%	
2010年	平成22	9,008,132	171,439	1.9%	82,780	2,970	3.6%	

参考：外国人人口の推移（神奈川県及び綾瀬市）
※（１）（２）のバックデータ

		神奈川県 総人口	神奈川県 外国人人口	神奈川県 外国人比率	綾瀬市 総人口	綾瀬市 外国人人口	綾瀬市 外国人比率	備 考
2011年	平成23	9,051,028	167,893	1.9%	83,335	2,937	3.5%	東日本大震災 (2011.3.11)
2012年	平成24	9,060,257	161,155	1.8%	83,426	2,793	3.3%	外登法廃止(2012.7)
2014年	平成26	9,100,606	160,605	1.8%	85,336	2,800	3.3%	
2015年	平成27	9,116,666	166,006	1.8%	85,414	2,821	3.3%	
2016年	平成28	9,136,151	174,427	1.9%	85,253	2,953	3.5%	
2017年	平成29	9,155,389	185,859	2.0%	85,180	3,116	3.7%	
2018年	平成30	9,171,274	198,504	2.2%	85,063	3,333	3.9%	
2019年	平成31	9,189,521	212,567	2.3%	85,120	3,672	4.3%	特定技能創設
2020年	令和2	9,209,442	228,275	2.5%	85,297	4,068	4.8%	新型コロナウイルス 緊急事態宣言
2021年	令和3	9,220,245	226,766	2.5%	84,886	4,158	4.9%	
2022年	令和4	9,215,210	222,018	2.4%	84,886	4,129	4.9%	
2023年	令和5	9,212,003	239,301	2.6%	84,376	4,407	5.2%	
2024年	令和6	9,208,688	260,163	2.8%	84,100	4,688	5.6%	
2025年	令和7	9,202,559	284,889	3.1%	83,952	5,203	6.2%	

※出典

1970年～2000年は『綾瀬市市統計要覧』、2001年以降は神奈川県ホームページ『県内外国人統計（外国人登録者統計）』を基に綾瀬市企画課作成。1974年と2013年はデータなし。

※神奈川県及び綾瀬市の外国人人口の基準日について、2012年以前は12/31、2014年以降は1/1。

※2012年まで神奈川県及び綾瀬市の総人口は『神奈川県人口統計調査報告書』（基準日1/1）。

ただし、1995年のみ国勢調査データ（基準日10/1）。

※2014年～神奈川県及び綾瀬市の総人口は『住民基本台帳人口』（基準日1/1）。

(3) 県内市町村における外国人人口数と人口比率

	総人口	外国人人口	人口比率 (%)	人口比率順位	人口数順位
県合計	9,202,559	284,889	3.10%	—	—
横浜市	3,753,398	126,744	3.38%	10	1
川崎市	1,535,141	55,850	3.64%	6	2
相模原市	716,494	20,515	2.86%	13	3
横須賀市	379,041	7,505	1.98%	19	7
平塚市	256,549	6,350	2.48%	17	8
鎌倉市	174,535	1,938	1.11%	29	17
藤沢市	445,041	8,489	1.91%	20	6
小田原市	186,464	3,713	1.99%	18	13
茅ヶ崎市	247,345	2,595	1.05%	30	16
逗子市	57,827	648	1.12%	27	21
三浦市	39,842	550	1.38%	24	23
秦野市	158,573	4,839	3.05%	12	10
厚木市	223,424	10,234	4.58%	5	4
大和市	245,750	8,716	3.55%	7	5
伊勢原市	99,816	3,471	3.48%	8	15
海老名市	140,763	3,765	2.67%	14	12
座間市	131,219	4,140	3.16%	11	11
南足柄市	40,164	666	1.66%	21	20
綾瀬市	83,952	5,203	6.20%	3	9
葉山町	31,813	316	0.99%	32	26
寒川町	48,997	1,300	2.65%	15	18
大磯町	31,757	247	0.78%	33	27
二宮町	27,415	325	1.19%	26	25
中井町	8,901	447	5.02%	4	24
大井町	17,426	195	1.12%	28	28
松田町	10,419	166	1.59%	22	30
山北町	9,263	137	1.48%	23	31
開成町	18,566	191	1.03%	31	29
箱根町	10,835	1,219	11.25%	1	19
真鶴町	6,553	80	1.22%	25	33
湯河原町	23,183	605	2.61%	16	22
愛川町	39,377	3,636	9.23%	2	14
清川村	2,716	94	3.46%	9	32

基準日 R7.1.1

地域別外国人人口比率	
1	箱根町
2	愛川町
3	綾瀬市
4	中井町
5	厚木市
6	川崎市
7	大和市
8	伊勢原市
9	清川村
10	横浜市

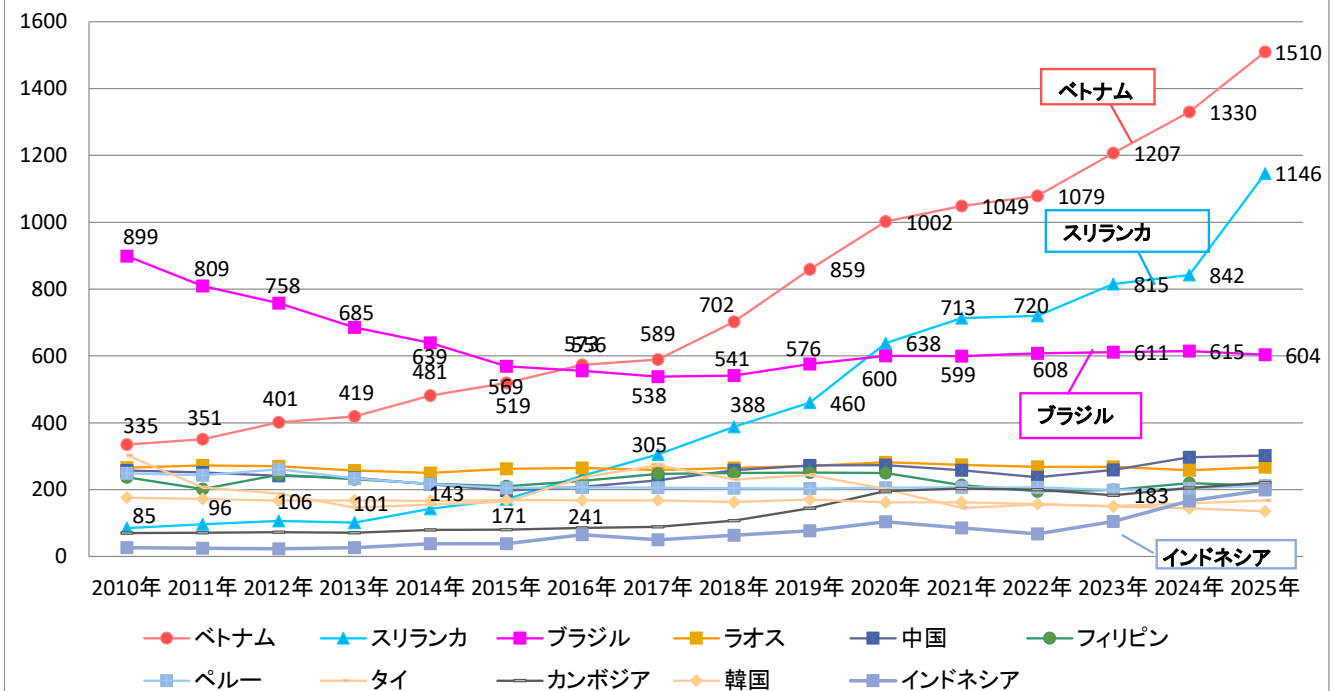
地域別外国人人口数	
1	横浜市
2	川崎市
3	相模原市
4	厚木市
5	大和市
6	藤沢市
7	横須賀市
8	平塚市
9	綾瀬市
10	秦野市

※出典

総人口及び外国人人口とも神奈川県市町村課が公表している住民基本台帳人口を基に作成

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/v2x/cnt/f100643/>

(4) 綾瀬市における国別外国人人口の推移



【解説】

ベトナムとスリランカが一貫して大幅な増加傾向にあるほか、総数は少ないもののカンボジアとインドネシアも増加傾向にある。カンボジアは2020年からは横這いである一方で、インドネシアは急激に増加し、韓国とタイを上回った。減少が続いていたブラジルも2018年から増加に転じたが、2020年からは横這いである。それ以外の国は、概ね横這いで推移している。

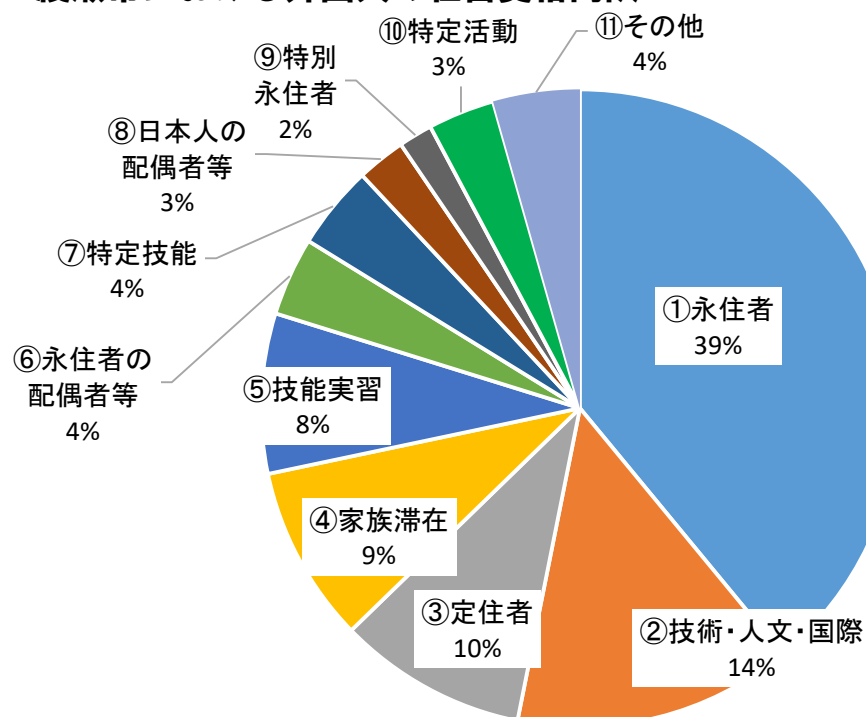
参考：綾瀬市における国別外国人人口の推移

国・地域	ベトナム	スリランカ	ブラジル	ラオス	中国	フィリピン	ペルー	タイ	カンボジア	韓国	インドネシア
主な言語	ベトナム語	シンハラ語、タミル語、英語	ポルトガル語	ラオス語	中国語	フィリピン語（タガログ語）	スペイン語	タイ語	クメール語	ハングル	インドネシア語
2010年	335	85	899	266	257	237	249	303	70	176	26
2011年	351	96	809	272	251	202	243	207	71	172	25
2012年	401	106	758	270	241	245	261	188	73	167	23
2013年	419	101	685	257	235	231	234	146	71	168	26
2014年	481	143	639	250	216	218	217	155	79	166	38
2015年	519	171	569	262	197	210	205	164	80	169	38
2016年	573	241	556	265	208	226	207	236	85	168	65
2017年	589	305	538	259	228	247	206	273	89	168	50
2018年	702	388	541	265	258	250	204	230	107	163	63
2019年	859	460	576	271	272	251	203	244	144	170	77
2020年	1002	638	600	282	273	250	206	202	196	162	104
2021年	1049	713	599	274	258	213	207	145	203	162	85
2022年	1079	720	608	268	237	195	207	155	200	157	68
2023年	1207	815	611	268	259	199	199	151	183	149	105
2024年	1330	842	615	258	297	219	203	159	205	144	166
2025年	1510	1146	604	267	302	212	212	168	221	135	199

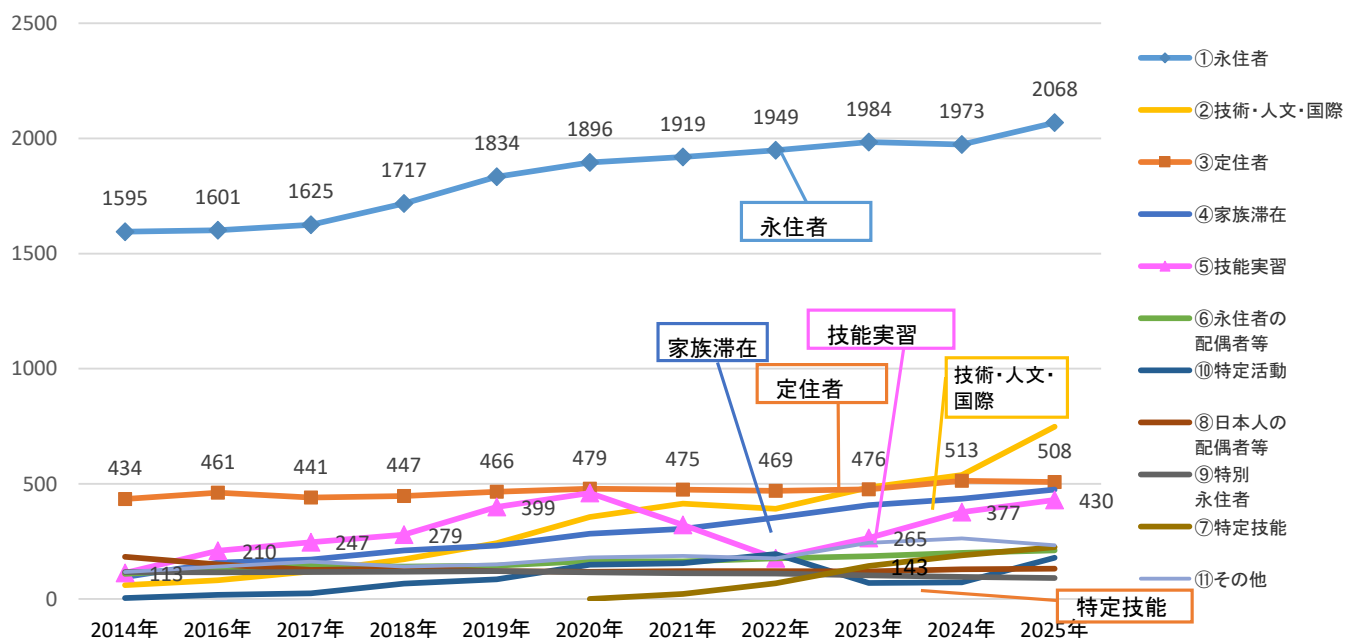
※住民基本台帳データを基に綾瀬市市民活動推進課作成（基準日は4月1日現在）

※インドネシアの2017年以前の市民数は、基準日を1月1日又は前年12月31日としています。

(5) 綾瀬市における外国人の在留資格内訳



(6) 綾瀬市における在留資格別の外国人人口推移



【解説】

本市は、永住者が約39%と半数近くを占め微増傾向にあるほか、就労等に制限のない身分に基づく在留資格者（①・③・⑥・⑧の計）が約3,000人で約55%となっている。

また、コロナ禍の入国制限により減少していた技術・人文・国際及び技能実習が再び増加するとともに、2019年に新設された特定技能も急激に増加している。

参考：綾瀬市における在留資格別の外国人人口推移
※（５）（６）のバックデータ

	①永住者	②技術・人文・国際	③定住者	④家族滞在	⑤技能実習	⑥永住者の配偶者等	⑦特定技能	⑧日本人の配偶者等	⑨特別永住者	⑩特定活動	⑪その他
2014年	1595	60	434	95	113	109		183	117	4	117
2016年	1601	81	461	158	210	130		150	116	18	141
2017年	1625	120	441	171	247	145		126	117	25	162
2018年	1717	173	447	211	279	141		131	118	67	141
2019年	1834	242	466	232	399	145		121	121	85	150
2020年	1896	356	479	283	460	164	0	118	116	148	180
2021年	1919	414	475	304	321	163	22	121	112	155	187
2022年	1949	391	469	353	177	177	68	121	110	195	176
2023年	1984	484	476	407	265	186	143	120	102	69	244
2024年	1973	538	513	435	377	200	189	129	96	72	263
2025年	2068	748	508	475	430	211	225	131	91	179	233

※住民基本台帳データを基に綾瀬市市民活動推進課作成(基準日は4月1日現在)

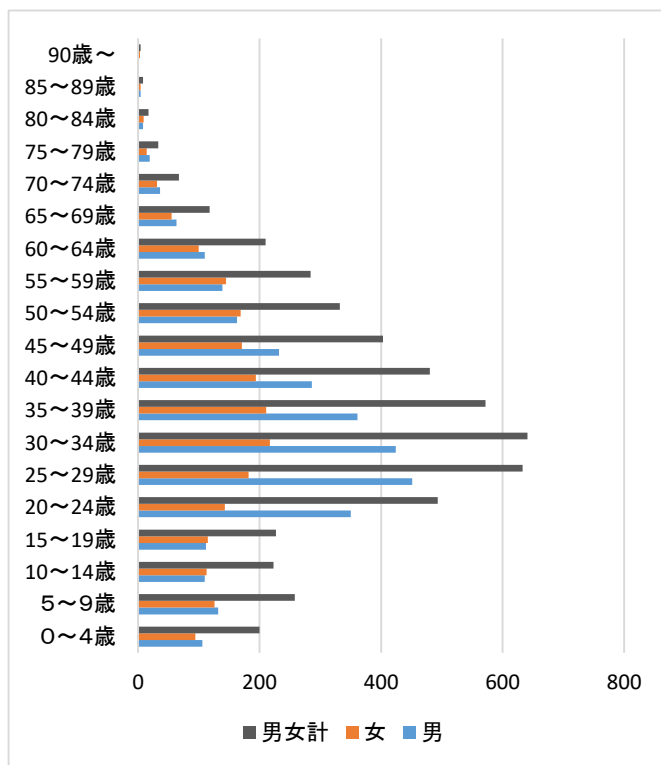
※技能実習は1号イ、1号ロ、2号ロの合計数

※2013年以前と2015年はデータなし

※2014年は8月1日現在

※特定技能は2019年4月に新設

(7) 綾瀬市における年齢階級別の外国人人口



年齢階級	男	女	男女計	順位
0～4歳	106	94	200	13
5～9歳	132	126	258	9
10～14歳	110	113	223	11
15～19歳	112	115	227	10
20～24歳	350	143	493	4
25～29歳	451	182	633	2
30～34歳	424	217	641	1
35～39歳	361	211	572	3
40～44歳	286	194	480	5
45～49歳	232	171	403	6
50～54歳	163	169	332	7
55～59歳	139	145	284	8
60～64歳	110	100	210	12
65～69歳	63	55	118	14
70～74歳	36	31	67	15
75～79歳	19	14	33	16
80～84歳	8	9	17	17
85～89歳	4	4	8	18
90歳～	1	3	4	19
合計	3,107	2,096	5,203	

※出典：住民基本台帳データ(2025年1月1日現在)

【解説】

外国人市民の年齢構成は、男女とも15歳から64歳までの生産年齢人口世代に集中しており、外国人市民の約82%を占めている。また、その中でも、20歳代から40歳代が特徴的に多く、全体の約62%を占めている。

なお、14歳以下の年少人口は約13%であり、65歳以上の老年人口は約5%と非常に少ない人口構造となっている。